

公表:令和 5 年 3 月 日

事業所名 ひだまりの庭

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏 まえた改善内容又は改善 目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	80%	20%	0%	活動内容の立案時に、気を付けています。	密になるようなことがないように、活動時に声をかけたり、仕切りを使って対応中。また、利用者が圧迫感を感じないように、配慮して活動内容の立案を行っている。
	②	職員の配置数は適切であるか	40%	60%	0%	送迎の時間は児童クラブで待つなどしていただいたり、ご家族の皆さんに協力頂いている。	送迎を調整したり、人員を増やすことにより、不足と感じる時間をなくしていきたい。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	0%	20%	80%	特に階段もあるため、上り下りの際は声をかけたり、後ろからの見守りも行っている。	けが等につながらないように、危険予測を行って事前にお声掛けもしている。今後も気を付けて見守りを行っていく。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	100%	0%	0%	課題の洗い出しや目標の設定、も行っている。	年に2回の職員面談と管理者との面談を行って、評価と振り返りを行っている。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	100%	0%	0%	今後も継続して行っていく。	いただいた情報をもとに、情報を職員間で共有、改善につながっている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	100%	0%	0%	ホームページだけではなく、配布と掲示も同時に行っている。	保護者様に配布・掲示・ホームページ公開を継続していく。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	100%	0%	0%	ぜひ第三者評価を行い、改善を図っていく。	第三者の外部評価を行っていないが、今後検討していきたいと考えている。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	100%	0%	0%	法人内外問わずに他事業所への実地研修を推進している。	今後も一人一人に合った研修計画を行って、参加を推進していく。
⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%	0%	0%	送迎時の時間を使ったり、必要であれば面談も行っている。	計画の作成時必ずご家族に聞き取り・支援会議を行っている。	
⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	40%	20%	20%	サポートブックも同時に参考にしている。	標準化されたアセスメントツールの研修に参加し、事業所内にて取り入れていきたいと考えている。	

適切な支援の提供

⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	100%	0%	0%	活動の内容は都度相談しながら行っている。	共有しながら今後もチームで立案していけるように取り組んでいく。
⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	100%	0%	0%	各スタッフで作成しながら、変化をつけている。	固定しないよう毎時ミーティングを作成していく。
⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	100%	0%	0%	会議を行いながら、都度内容に変化をつけている。	長期休暇にしかできない活動を考え、実施している。
⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%	0%	0%	丁寧なアセスメントと、本人の興味関心から活動内容を立案している。	集団と個別を個々にあった内容で活動している。
⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	75%	25%	0%	毎日の支援会議の中で都度行っている。	毎日支援会議の時間を設けるようにしている。
⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	80%	0%	20%	日々、空いた時間に支援についての振り返りを行っています。	朝と午後にミーティングの時間を設けているが、もう少し濃い内容にしていきたい。
⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100%	0%	0%	本人の発言等正確に記入したり、保護者様からの発言の記録も取っている。	子どもたちの変化や日々の様子を正確に記録している。記録の取り方を職員で共通で理解していく。
⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	100%	0%	0%	半年に一度はモニタリングを行っている。	定期的に個別支援会議を行っている。
⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	80%	20%	0%	支援会議にて活動の内容の精査を行っている。	ガイドラインを意識した支援をおこなっている。不足部分については、再度見直しをかけていきます。

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	100%	0%	0%	利用者様の情報は職員間で共通認識し、資料を作成、全職員が目を通している。	職員間で日程調整し、担当者会議に参加させていただいている。できるだけ全スタッフが参加できるように配置している。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	100%	0%	0%	事前に保護者様へ利用表の記入協力を依頼し、把握できるようにしている。	利用者保護者を中心に、情報を一緒に共有している。書く学校とも情報共有することを今後も継続して行っていく。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	0%	40%	60%	現在利用は無いが、研修等を受けて知識を深めたいと考えている。	医療的ケアのお子さんは現在まで利用されていない。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	60%	40%	0%	相談員さん含め、関係機関と協力しながら、情報を精査している。	担当者会議等に参加させていただき情報共有・相互理解を図っている。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	50%	50%	0%	現在まで利用は無いが、一緒にサポートブックの見直しを行う等情報をまとめている。	現在まで、該当者は無しだが、サポートブックの作成を一緒に行いながら、必要に応じて行っていこうと考えている。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	100%	0%	0%	できるだけ利用者情報に関しての資料を作って、保護者を経由して担当医からのアドバイスをいただいている。	コロナ渦で研修への参加を見送ったこともあったが、今後は積極的に行っていきたい。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	0%	40%	60%	コロナ渦の影響もあり目立った活動への取り組みがなかった。	改めて、どんな形で交流の機会を設けるのか検討しているところである。
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	80%	20%	0%	今年度は、役員の任命されたため、参加の機会に恵まれた。	全職員が参加できる機会を次年度は多く増やしたい。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100%	0%	0%	特に送迎時に情報を交換しています。また検査を受けた際にも情報をいただいている。	お家の方とのやり取りのノートや送迎時にお伝えさせていただいている。
㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	50%	50%	0%	現在スタッフが学びを深めている。	家族支援として、面談等を行い相談に対してアドバイスをさせて頂いている。次年度はさらに力を入れペアレントトレーニング等も行っていきたい。	

保護者への説明責任等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%	0%	0%	わからない所はいつでも聞いていただけるようにお声掛けさせていただいている。	契約時に説明させていたでいる。なお、不明点についてはいつでも受け付けていることも伝えている。
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100%	0%	0%	連絡ノートや送迎時のやり取りを大切にしながら、面談等もやっている。	適宜面談を設けさせていただいているが、もっと深いものにして行きたいと考えている。
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	0%	25%	75%	テーマを決めて、保護者様同士の対話ができる機会を作った。	次年度も計画的な保護者会の開催を予定している
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%	0%	0%	頂戴したお声を大切にしながら、職員間で共有し、毎日の会議にて対策を考えている。	適宜対応させていただいている。
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100%	0%	0%	活動時にはお手紙を配布したり、送迎時には活動内容の写真を見ていただいている。	HPを利用して、利用者のご様子を周知している。さらなる掲載頻度を上げていく。
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	60%	40%	0%	年度初めには必ず話をして共通理解を持つようにしている。	同意書に記入していただいている。また、個人情報を守る環境作りも徹底していく。
	③⑯	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100%	0%	0%	本人のコミュニケーションツールについての丁寧なアセスメントを行っている。	視覚化を丁寧におこない情報の伝達に努めている。また、必要に応じて写真などで情報の提供も行っている。
	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	0%	20%	80%	コロナ渦で中止していたゴミ疲労の活動の再開している。	様々な方法を考え、地域の活動に参画していく。
非常時等の対応	③⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	100%	0%	0%	シュミレーションも同時に行っている。	研修参加・園内研修を行い周知に努めている。保護者への周知での足りない部分を改善していく。
	③⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	60%	40%	0%	避難場所まで実際に足を運ぶこともしている。	年間計画に沿って行っている。実施回数も増やしていき、保護者様にも周知していく。
	④①	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100%	0%	0%	職員全員が研修を受けるように計画、実施を行った。	次年度も積極的な兼業への参加を行っていく。
	④②	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	0%	20%	80%	現在該当する方の在籍は無いが、内部外部研修を通し学びを深めている。	職員の学びを深めるためにも定期的な研修を行っていく。
	④③	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	40%	0%	60%	該当者の在籍は認めない、医師、もしくは、保護者からの聞き取りで対応している。	今後該当者が出た場合を想定し、研修等を通して学びを深めるとともに、職員間での情報共有も深めていく。

④③	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	60%	40%	0%	実際に危険箇所は必ず報告、書面に残して対応している。	今後も毎日の会議の中で課題として考えていく。また、小さなことでも情報を共有していく。
----	----------------------------	-----	-----	----	----------------------------	--

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。